

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	黒目川桜並木管理事業					事務事業コード	01811
部 名	都市建設部	課 名	道路整備課	係 名	道路管理係	部課コード	050400

1. 事業概要

総合計画コード	5321	5332		
事業年度	年度 ～ H	年度	事業類型	◎ソフト事業 ○ハード事業
法令等の義務付け	○法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 ○義務と任意の両方を含んでいる事業 ◎任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務		<根拠法令等(法律、条例、要綱など)>	
めざす 目的成果	黒目川桜並木が適切に管理され、住民が黒目川に親しみ、楽しむことができる。			
事業内容	桜の季節に提灯、灯籠、仮設トイレを設置し遊歩道を適切に管理することで、快適な環境をつくる。 黒目川再生プロジェクトによる会議等で承認された、案内板の設置やベンチの設置等を行う。			
事業手法	☐ 市の完全な直営 ☒ 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) ☐ 市民等との協働 ☐ 補助金交付			
	市民団体による桜並木の維持管理及び市発注による提灯、灯籠の設置。 地元市民、地域住民、県による黒目川再生のための計画づくり。			

2. 実施結果

H28年度の 事業の実施内容			清掃業務委託料		530千円	遊具等改修工事		300千円		
			除草委託料		162千円	遊具等設置工事		10,595千円		
			仮設トイレ設置委託料		914千円					
			灯籠設置委託料		1,032千円					
			提灯設置委託料		1,394千円					
			単位:千円		H26年度決算		H27年度決算		H28年度決算見込	
投入 コスト	a 事業費[イ]～[ホ]			8,752		30,799		16,297		
	財源内訳	[イ]国庫支出金								
		[ロ]県支出金								
		[ハ]地方債								
		[ニ]その他								
		[ホ]一般財源		8,752		30,799		16,297		
	b 人件費			5,862		5,496		5,496		
総コスト(a 事業費 + b 人件費)			14,614		36,295		21,793			
投入労働量		常勤職員等(人工)		0.80 人		0.75 人		0.75 人		
		一般職非常勤職員等(時間)		時間		時間		時間		
a 事業費 (H28年度決算見 込)の執行内訳			委託料 5,402千円 工事請負費 10,895千円							
指標名				単位	H28目標・計画	H29目標・計画	H30目標・計画	最終目標・計画		
					(H28実績見込)	(H29実績見込)	(H30実績見込)	目標年度		
活 動	①	提灯設置延長	m	750	750	750	750			
				(750)	(—)	(—)	H	32	年度	
	②	仮設トイレ設置個所数	箇所	3	3	3	3			
				(3)	(3)	(3)	H	32	年度	
成 果	①	黒目川花まつり来場者数(2日間)	人	6,000	6,000	6,000	6,000			
				(45,000)	(—)	(—)	H	32	年度	
	②	黒目川桜並木における事故件数	件	0	0	0	0			
				(0)	(—)	(—)	H	32	年度	

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	☒ A 必要性が高い	☐ B 必要性がある程度認められる	☐ C 必要性が低い
	☐ 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される ☒ サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている ☐ 法令等により、市に実施が義務付けられている ☐ 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる ☐ 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい ☐ その他 <説明> 黒目川はシティセールス朝霞ブランドに選定されたすばらしい景観である。この地域資源を内外にPRし、市民の誇りとしていく必要がある。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	☐ A 目標よりも大きな成果が得られた	☒ B 概ね目標の成果が得られた	☐ C 目標とする成果が得られなかった
	☒ 活動指標の目標を達成した ☐ 成果指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 花まつりは、年々定着しており、黒目川まるごと再生プロジェクトも県、市、市民団体、自治会の連携ができて事業が進捗している。			
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: 黒目川の桜の木が適切に管理され多くの人に親しみを持っていただけた。 参加と協働: 桜の開花時期に併せ、近隣での祭りを開催した。 経営的な視点: 祭りの開催に併せ催し物の開催を行うことにより市民のみならず多くの方が訪れた。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	☒ I 見直す余地がない	☐ II 見直す余地がある程度認められる	☐ III 見直す余地がある
	☐ 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある ☐ 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある ☐ サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある ☐ 受益者負担のあり方について見直す余地がある ☐ 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある ☐ 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある ☐ その他 <説明> 今後においても、桜の開花時期に合せ、提灯、灯籠、仮設トイレ設置等市民の親しみの場所として黒目川を育てていく。			

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	☒ A 市で継続実施 ☐ B 休止・廃止 (実施時期: ☐ H28年度から ☐ H29年度から ☐ H30年度から) ☐ C 民営化 (実施時期: ☐ H28年度から ☐ H29年度から ☐ H30年度から) ☐ D 国・県に移譲 (実施時期: ☐ H28年度から ☐ H29年度から ☐ H30年度から) ☐ E 終了 (実施時期: ☐ H28年度まで ☐ H29年度まで ☐ H30年度まで)			
	成果の方向性	☐ A 拡大 ☒ B 現状のまま ☐ C 縮小		
今後の取組方針	投入資源の方向性	事業費	☐ A 拡大 ☒ B 現状のまま ☐ C 縮小	
		労働費	☐ A 拡大 ☒ B 現状のまま ☐ C 縮小	
		☐ A 見直して継続 ☒ B 現状のまま継続		
	見直しの方向性	☐ 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) ☐ 業務プロセス改善 (実施時期: H 年度) ☐ 対象・水準等の見直し (実施時期: H 年度) ☐ 受益者負担の見直し (実施時期: H 年度) ☐ 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) ☐ 市民等との協働を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) ☐ その他 (実施時期: H 年度)		
		方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)		
黒目川まるごと再生プロジェクトにより整備された広場の大部分を、市民の皆様で管理を行っていただいている。一部、管理団体との協定を行っていない広場があることから、締結を考慮する。				